



東海那珂ロータリークラブ会報

2023-24年度クラブスローガン「みんなの力で再出発」



世界に希望を生み出そう

<本日の例会(第1652回)>

2024年5月22日(水) 18:30~19:30
 於 ホテル クリスタルパレス
 次期クラブ協議会(1)

<次回例会(第1653回)>

2024年6月5日(水) 12:30~13:30
 於 ホテル クリスタルパレス
 【外部卓話】 子ども食堂 東海村社会福祉協議会

本日のプログラム

次期クラブ協議会(1) ~地区研修・協議会(DTA)報告~

次期会長・幹事、次期委員長(クラブ会員組織、クラブ運営管理、公共イメージ、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕、ロータリー財団、米山)

地区研修・協議会報告

報告者:次期会長 海野 宏幸

4月14日(日) 日立シビックセンターにて地区研修・協議会が開催され、当クラブからは中村パストガバナー・石井地区委員他、次年度クラブ役員および理事の方々9名が参加しました。

大高ガバナーエレクトの点鐘後、本会議が開催され、大久保ガバナーの挨拶後、瀬戸ガバナーノミニの紹介と挨拶、藤木ガバナーノミニ・デジグネートの紹介と挨拶がありました。

大高ガバナーエレクトより、RI テーマと次年度地区方針の発表がありました。

ステファニーA. アーチック ‘24-25RI会長テーマ THE MAGIC OF ROTARY

当地区スローガン BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”

が表明されました。その後、ホテル テラスザスクエア日立とシビックホールに分かれ、6つの分科会が持たれました。

会長・幹事・ガバナー補佐の第1グループでは地区資金(案)、予算(案)が承認された。繰越金が大幅に減少したが、社会奉仕関係で昨年、作成したミテランの分がなくなり、委員会活動費はほぼ平行となっている。終了後、本会議場に戻り、神戸須磨RCの瀧澤功治様の講演受講。

2024-25年度 ロータリーのビジョン

私達は、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指します。

優先事項 1 より大きなインパクトをもたらす

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオの無い世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2035年までに20億2500万\$の恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査及びプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

優先事項 2 参加者の基盤を広げる

1. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
2. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
3. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
4. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

優先事項 3 参加者の積極的なかわりを促す

1. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるために、クラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
2. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
3. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

優先事項 4 適応力を高める

1. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
2. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

地区数値目標

会員数 地区2000名 各クラブ純増 2名の増強を目指す。

財団寄付 年次基金寄付 150 \$、ポリオプラス基金寄付 30 \$ 計180 \$

ベネファクター 各クラブ1名以上、ポリオプラス・ソサエティ(PPS) 1名以上

米山奨学会 特別寄付を含め1人 25000円以上

My Rotary 会員登録 75%

地区行動目標

7～10月の4ヶ月間を会員増強月間とし、優秀クラブを地区大会時 表彰する。

IT委員会と公共イメージ委員会を統合し、公共イメージ・ICT推進委員会とする。

地区全クラブがクラブ優秀賞継続受賞を目指してほしい。

地区研修委員会がラーニング委員会に 研修リーダーはラーニングファシリテーターに各クラブでもラーニングファシリテーター任命が奨励されている。

ロータリー希望の風 奨学金への支援継続 ガバナー公式訪問時 1000円の寄付

第2分区関係

大谷ガバナー補佐よりクラブ優秀賞の分区内全クラブ達成の要請

6月11日 第2分区 会長・幹事会の案内

主要行事予定

- ・ガバナー公式訪問 2024. 10. 23(水)
- ・世界ポリオデー 2024. 10. 27(日) 各クラブ10名の参加 笠間稲荷神社
- ・地区大会 2024. 11. 10(日) 日立池の川さくらアリーナ
- ・第2分区IM 2025 . 2. 16(日) クリスタルパレス

地区研修・協議会報告

報告者:次期幹事 厚見 和則

日時:2024年4月14日(日)

場所:日立シビックセンター、ホテル テラス ザ スクエア 日立

1. 本会議 9:00～10:45

- ・ RI テーマ:「THE MAGIC OF ROTARY」
- ・ 地区スローガン:「BE THE INSPIRATION」

“元気な一歩、共に成長するクラブの力”

- ・ クラブ優秀賞(ロータリー賞)について

2. 分科会(第1グループ)11:20~12:45

・ 地区予算案について

地区会計長より地区資金及び基金・協力金の予算案の説明があり、各クラブ会長の承認を得た。

・ ガバナー公式訪問について

・ 事前のクラブ懇談会ではクラブセントラルについて進捗状況を PC で説明。

・ クラブ現況報告書について

・ 本年度クラブ事業計画でクラブ・ラーニングファシリテーターを追加

・ クラブ戦略計画、クラブ定款および細則は必ず記載

・ My Rotary の登録及びロータリークラブ・セントラルへの入力依頼

・ RI 及び地区ガバナー事務所への各種報告の説明

3. 休憩(昼食)12:45~13:50

4. 基調講演 13:50~15:30

5. 本会議(午後の部)15:30~15:50

地区研修・協議会報告(クラブ奉仕委員会・クラブ管理運営委員会)

報告者:次期クラブ管理運営委員長 藤田 明英

クラブ奉仕担当カウンセラー 大久保博之氏(水戸)

クラブ奉仕総括委員長・リーダー 星野 幸子氏(水戸西)

会員増強 吉岡 隆久氏(つくば学園)

クラブサポート 人見 光一氏(水戸南)

公共イメージ・ICT 推進 鈴木 茂美氏(日立)

1. 会員増強

◎目指すところは、活気のあるクラブ

・課題となっているのは、2年目の退会。ロータリーのすばらしさの説明が必要。

・DEIが重要 DEI=Diversity、Equity、Inclusion(多様性、公平性、包括性・受容性)

◎会員増強のポイント

・会員増強は、全員で強みを生かして行う。

・戦略計画、ありたい姿の明確化が重要。

・会員増強の第一歩は、現状把握。

ex.年齢構成、女性比率(日本 8.92%、RI 28.81%)、入会理由(入会のメリット説明に活用)、

退会理由(防止策の立案)…3年未満退会が1/3

・クラブ認知度の向上、クラブのステータスを高める。

・女性会員は複数名を連鎖的に。

・制度の再検討…同好会づくりなど。

・メークアップの奨励。他のクラブを見て良いところを取り入れる。

◎会員増強の事例

・衛星クラブの活用でクラブの会員増強!

衛星クラブは8人で設立可。例会開催方法を柔軟に設定可。会費の金額を柔軟に設定可。

これらメリットを活用し、これまで入会できにくかった人を会員に。

・衛星クラブの会員は、スポンサークラブの会員としてカウントされる。

2820地区では、下妻RC32名⇒1年で62名

2. クラブサポート

◎My Rotary(ロータリークラブ・セントラル)を活用したクラブ戦略計画。

・各項目の目標設定と進捗確認ができる。

◎魅力あるクラブづくり

・戦略計画の策定を3カ年計画で考え継続性を持たせる。

・会長エレクト、幹事エレクト、次年度・次々年度役員を中心とした戦略計画特別委員会を設ける。

◎会員の満足度が高いクラブ＝戦略計画のあるクラブ

・上がやっているではなく、会員が立案している。

・何もやらない現状維持は衰退。

・新しいことをやるには新しい人を活用

3. ICT 推進委員会

◎公共イメージと認知度向上

・「ロータリーは何をしている団体なの？」

・「ロータリーは世の役に立っているの？」

・ロータリークラブの事を正確に知っていますか。

・ロータリーの何を伝えるか、伝えたいことの価値は何か。

・社会の認知度はほとんど知られていないのが現状。

・認知度の向上は、自分から言うのではなく、相手が言ってくれるまで行動を続けること(継続)。

・ICTリテラシー向上。

Information and Communication Technology(情報通信技術)

・奉仕活動を HP や SNS にて発信。(更新)

・My Rotary 登録目標 次年度 75%

・ロータリー奉仕デーの開催(YouTube、X、QR コードなど)

・ロータリー賞へのチャレンジ

活動の結果を数字に表したものを。公共イメージUPにつながる。

地区研修・協議会報告(職業奉仕委員会)

報告者:次期職業奉仕委員長 橋本 壽郎

奉仕プロジェクトカウンセラー:高橋 賢吾(水戸西)

職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の3つの委員会を集結し、奉仕プロジェクトリーグとして地区の活動を行うことになった。また、研修会もラーニング形式とする。

1. 各委員会の委員が3つの委員会活動に携わることによって、共通の認識を持ち、専門分野の見識を共有することにより力強い奉仕プロジェクトを推進する。(職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)
2. 研究会やセミナーを効率よく開催し、クラブ単独では難しいプロジェクトを効果的に実践する。
3. 「メンタルヘルスの啓蒙」に沿って、クラブ会員や職場のメンタルヘルスの課題に取り組む。

特に会員企業に役立てていただける実践例や手法を紹介していく。

*職業奉仕では職業上の高い倫理基準をもって仕事をする。日常生活が奉仕そのものである。

4つのテストに問いかけて行動規範を実践していく。

地区研修・協議会報告(社会奉仕委員会 地区ラーニング・協議会)

報告者 次期社会奉仕委員長 浅川 清司

日 時 4月14日(日)8時30分

場 所 日立シビックセンター・テラスザガーデン

地区委員会の役割(社会奉仕委員会)

- 1) クラブに成功事例やリソース、地元団体、地区委員会、奉仕関連の他のロータリーグループを紹介することで、クラブによる社会奉仕を援助し、クラブがロータリー地域社会共同体をスポンサーして地元市民との関係を築けるよう支援する。
- 2) 各自の才能や職業スキルを生かして奉仕プロジェクトを計画、実施するクラブ会員に奨励することで、職業奉仕を推進する。
- 3) 社会奉仕活動を実施し、成功例を紹介するようクラブに奨励する。

クラブに成功事例を紹介

- 1) 主に地区補助金活用事業の中から、現在の社会的なニーズに合致した事業を選び、実施クラブから事例発表を行っていただく。発表の場として、ラーニングセミナー・研究会を実施する。
- 2) 2820地区の中でも、分区ごとに社会奉仕事業の特色があり、A 分区では当たり前、実施されている事業が、B 分区では全く該当事業がない場合も多い。
- 3) ロータリークラブが中心となって、「地域社会共同体」を組織するような事業の構築を全力でバックアップする。

ラーニング形式の研究会の開催

奉仕プロジェクトチーム研究会の概要

開催日 令和6年7月20日(木)

場 所 ロープかすみがうら (土浦市)

講 師 プラニク・ヨゲンドラ

茨城県立土浦一高 校長 ・全日本インド人会 会長

新たな社会奉仕事業の創出支援

地区研修・協議会報告(国際奉仕委員会)

報告者:次期国際奉仕委員長 大森龍一

第三グループ(奉仕プロジェクト)職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕委員会、総括委員長がプロジェクトのスピーチをした。

*「この指とまれ」事業の説明(当地区独自の世界社会奉仕のプロジェクト)

*グローバル補助金について

*国際交流奨学金について

*国際交流共同について

タイ担当 橋本 哲様 (水戸南)

ネパール担当 中島賢一様 (土浦)

フィリピン担当 中村康博様 (牛久)

【スケジュール】

*奉仕プロジェクトチーム研究会

社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕委員会の3委員会で合同開催。

開催日 令和6年7月20日(土)

場 所 ロープかすみがうら(土浦市)

地区研修・協議会報告(青少年奉仕委員会 地区研修分科会報告)

報告者:次期青少年奉仕委員長 島田 智和

2024-2025 年度方針

1. 奉仕活動で国際社会と地域へ貢献
2. 持続可能な社会と地域に向けて意識を醸成
3. 危機管理の周知徹底
4. 青少年奉仕を通じてロータリアンも成長(トレーニングからラーニングへ)対話を重視
5. ポリオ根絶イベントの開催による意識高揚

2024-2025 年度に向けての課題

1. ロータリー学友会との連携
2. 青少年奉仕活動の危機管理
3. 新年度に向けての準備
 - ① 青少年交換(長期・短期)相手国との交渉及び、次々年度の派遣生の選抜とオリエンテーション
 - ② インターアクト研修(台湾)の準備
 - ③ ライラ研修開催の準備(開催地・日程調整)
4. アフターコロナにおける青少年奉仕活動の在り方

2024-2025 年度年間スケジュール

1. インターアクト年次大会 8月12日(月)
2. インターアクト台湾研修 12月予定
3. ライラセミナー 12月14日(土)15日(日)高萩予定
4. 短期青少年交換留学(タイ)12月予定
5. ローターアクト地区大会 4月予定
6. ローターアクト公式訪問 9月1日(日)
7. ポリオ根絶イベント 10月27日(日)笠間稲荷神社周辺

地区研修・協議会報告(ロータリー財団委員会)

報告者:次期ロータリー財団委員長 佐藤広道

分科会報告(第5グループ ロータリー財団委員会)

1. 大高年度財団方針 R 財団総括委員長 新井和雄
ロータリー財団寄付の奨励
ポリオ根絶のためのプロジェクトが掲げられている。全クラブの参加をお願いしたい
2. ポリオプラスについて ポリオプラス委員長 七野悟
ポリオ根絶はロータリーの最優先事項です。ポリオ根絶まで残り 0.1%、あと一歩。
ポリオプラス基金 30ドル/人
3. ポリオプラスソサエティ(PPS)について 資金管理推進委員 高島章行
ポリオプラスソサエティ(PPS)会員募集
毎年 100 ドル「ポリオプラス基金へ寄付(クラブ一人以上)」
4. 地区補助金について 補助金委員長 菊池泰正
奉仕活動資金の 35%が支給される(最大 30,000 ドル)
5. グローバル補助金について グローバル補助金委員長 雨宮 淳
この指とまれに参加したものは対象外
6. 財団奨学金について 奨学金・学友担当 田上悟史
長期海外留学
7. 資金推進・ポールハリスソサエティ(PHS)について 資金管理推進委員 関康彦
地区資金は現在 22,440 円/人、地区の運営資金に頂いている、近年会員数の減少により地区資金も厳しくなっている。増強に力を入れてほしい。
ポールハリスソサエティ(PHS)会員募集 毎年 1,000ドル以上(地区 100 人以上維持)
8. ロータリー平和フェロシップについて 平和フェロシップ委員長 齋藤章
9. ロータリーカードについて ロータリーカード推進委員長 端敦宣
使用金額の 0.3%が財団に寄付される。法人カードも出来た。
10. ディスカッション ファシリテータ 新井和雄
ポリオプラスソサエティ(PPS)について、どう思うか?等々

地区研修・協議会報告(米山記念奨学会委員会)

次期米山記念奨学会委員長 清水 繁

ロータリー米山記念奨学事業とは

日本で学ぶ外国人留学生を支援しており、採用数・事業規模では民間最大級です。

2023年度に奨学生の出身国が2カ国増え、131の国と地域になりました。

新たに加わったのは「ギリシャ」と「ポルトガル」です。

この事業の真髄、「世話クラブ・カウンセラー制度」です、世話クラブが選ばれ、会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、日本での生活に配慮しています

事業の指名

将来、日本と世界を結ぶ「かけ橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の 良き理解者となり、これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

奨学事業の価値は

どんな奨学生を採用したか、どんな奨学生に育てたか、育ててくれたか、にあります。

<出席報告>

会員数	出席免除者数	対象会員数	出席者数	欠席者数	出席率
33人	5人	28人	28人	0人	100%

【出席免除者】 清宮 武雄会員、高橋 昭会員、中井 英一郎会員、大部 泉会員、瀬谷 利雄会員

<首都圏外郭放水路見学>

首都圏外郭放水路(埼玉県春日部市)がある埼玉県東部地域は、お皿のように平らな低い土地で、江戸川、荒川という大河川に囲まれ、洪水被害に悩まされてきました。そこで、川から溢れる水を地下に流し込み、流量を調整して江戸川に戻すという、全長 6.3km に及ぶ大規模な地下放水路を設置したというわけです。

取り入れた水を溜め込む立坑(内径約 30 メートル×深さ約 70 メートル)が 5 ヶ所、そこから地下トンネル(内径約 10 メートル)を通して江戸川に戻し入れる。その際、調圧水槽(長さ 177 メートル、高さ 18 メートル、幅 78 メートル)で水の勢いを弱めてやる、そんな仕組みです。



(首都圏外郭放水路パンフレットより)



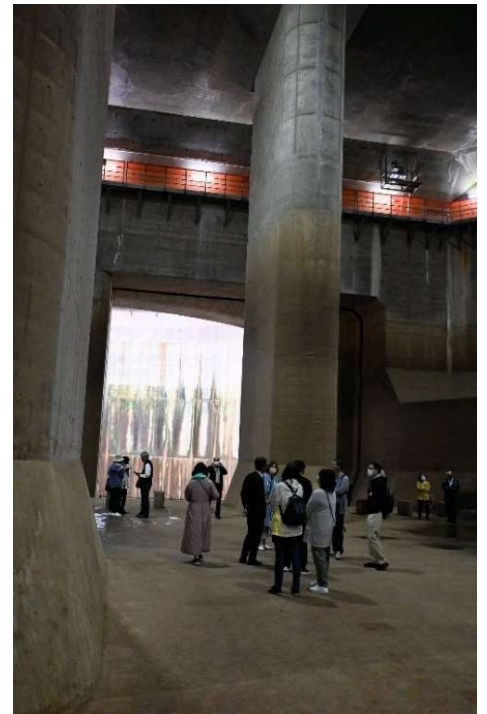
今回は、防災神殿と呼ばれる調圧水槽内に入りましたが、まさに壮大な地下神殿。水槽内温度は 12℃で、足元には、溜まった水が少し残っていました。



奥行は177mもあります



足元注意！水槽内には水が



思わず見上げてしまう高さです

東海那珂ロータリークラブ

事務所 〒311-0103茨城県那珂市横堀 1721-6 常陸環境株式会社

電話090-7517-2473 E-mail: tokainakarotary@gmail.com

例会場 〒312-0023茨城県ひたちなか市大平 1-22-1 ホテルクリスタパレス

電話 029-273-7711



ホームページ



Facebook